

令和8年度主要事業の取り組み状況について

- ◆令和8年度は、市民が希望を持てる「伊達市の未来創造」に取り組むため、「若者が定着するまちづくり」「便利で暮らしやすいまちづくり」「人にやさしいまちづくり」「豊かさを感じられるまちづくり」の4つの柱を重点的に推進しています。
- ◆令和8年度の主要事業について、上半期(4月～9月)の進捗状況をお知らせします。

若者が定着する
まちづくり

便利で暮らしやすい
まちづくり

希望ある
未来の創造

人にやさしい
まちづくり

豊かさを感じられる
まちづくり

■ 若者が定着するまちづくり

主な取組内容

伊達市版ネウボラ事業

- 県内10市と東京大学が連携して取り組む保育体験「はぐプロジェクト」の実施。
- パパのための子育てサロン「パパノミカタ」の開催。
- 企業を対象とした出前講座「育パパ応援隊」の派遣。

企業向け保育体験

5回（延べ8名参加）

パパノミカタ

2回（延べ6組参加）

※年間6回計画



市管理職向け保育体験の様子

私立保育園運営費負担金・補助金事業

- 私立保育園2園、私立小規模保育園3園へ、国の制度に基づく運営費を交付。通常の保育と付随した一時預かり、延長保育、病後児保育等の各種特別保育事業を実施する場合は補助金を交付。
- 広域的な保育需要に対応するため、イオンモール伊達に設置する事業所内保育施設「だてのもり保育園」についても負担金・補助金を支給予定。「だてのもり保育園」は、11月末に開園。



だて婚活支援事業

- 結婚を前向きに捉えることができる環境整備を図るため、新婚世帯等へ住宅取得等の費用を助成。

移住者等への補助金の支出

3件 ※年間18件計画

若者が定着するまちづくり

主な取組内容

雇用促進事業

○令和8年度高校生対象伊達市内企業説明会を実施。

参加者

89名 ※昨年度105名

参加企業数

26社 ※昨年度24社



移住・定住促進事業

○首都圏移住フェアへの参加（2回）や定住者交流会の実施（1回）。

○移住に関する補助金の支給などを実施。

移住者数

35世帯52人（9/7現在）
※年間70人目標

移住者等への補助金の支出

6件 ※年間19件計画



全世代・全員活躍のまち事業

○多世代交流プログラムの一環で、高子駅北地区の交流施設

「U-プレイス伊達」でハロハロマーケットを実施。

実施回数

2回 ※年間7回計画

来場者数

580名

○だて探求カレッジ事業（学生たちによる探求活動）の1回目を実施。



便利で暮らしやすいまちづくり

主な取組内容

バス路線運行事業

- バス路線の運行を維持するため、事業者に対し関係市町と協調して補助。
- 4月1日より、コミュニティバス「道の駅りょうぜん経由掛田・月舘線」の運行を開始。

広域路線バス

9 系統

コミュニティバス

3 系統



新多目的交通システム事業

- 高齢者等の移動手段の確保等を図るため、低定額料金を設定した電話予約によるデマンド型乗合交通手段を提供する事業実施主体に対し補助。

区域運行型の運行

14エリア

定路線型の運行

9 路線



収納管理事務

- 8月1日より、従来の紙による口座振替申込に代わり、Web上で申込から金融機関確認完了までできる「Web口座振替受付サービス（ペンリィ）」の運用開始。

対象費目

17費目

対象金融機関

東邦銀行、大東銀行、福島銀行、ゆうちょ銀行
(10月1日現在)

8 月実績

22件 ※年間1000件計画

便利で暮らしやすいまちづくり

主な取組内容

生き活き集落づくり事業

○4分野（農業、シティプロモーション、ハーブを活用した地域おこし、起業支援・既存事業者の新分野展開に伴う市場調査支援など）8名の地域おこし協力隊員を迎え入れ、伊達市への移住と活動開始を実現。

災害（防災）対策事業

○伊達市排水ポンプ車設置・操作訓練、各地域での個別訓練及び出前講座の実施。
○災害備蓄品整備（アルファ米おにぎり、長期保存用パン）。
○7月2日、大和ハウス工業株式会社福島支店、大和ハウスプロパティマネジメント株式会社との災害発生時における支援協力に関する協定締結。



ごみ減量化リサイクル事業

○生ごみ処理機購入費の補助をはじめ、イベントの開催や回収ボックスの設置などを実施。

生ごみ処理機購入費用補助実績

33件（8月末時点）※年間30件計画

古着無料回収イベント等

7回 ※年間6回計画

フードドライブ(食品ロス削減) 実施

2回 ※年間3回計画

道路施設等維持管理事業

○市道、水路等の維持管理、現道整備、舗装修繕、街路灯の新設及び修繕を実施。

舗装補修工事
(小幡線、保原伏黒線)

2件 ※年間2件計画

さわやか現道整備事業
(砂利道路の舗装整備)

6件完了、4件発注済
10件地権者現地立会等実施
※年間29件計画

市道・水路維持修繕

5地域全47件

街路灯修繕

406件（8月末時点）
※年間1000件計画

■ 人にやさしいまちづくり

主な取組内容

乳幼児健康診査事業

- 乳幼児健診（4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児）を月3～5回実施。
- 5歳児健診は令和9年1月から実施。

4か月児健診

5回 ※年間13回計画

1歳6か月児健診

6回 ※年間14回計画

3歳6か月児健診

7回 ※年間17回計画

すべて8月末時点



小学校・中学校施設維持管理事業

- トイレ洋式化率が低い小中学校を対象に、計画的にトイレ洋式化改修工事を進めるため、設計を実施中。

中学校管理運営事業

- 熱中症対策として、7月1日に市内中学校体育館へ大型気化熱冷風機を1台ずつ設置。

設置台数

全6台 ※年間6台計画



高齢者福祉サービス事業

- 新たに高齢者補聴器購入費助成事業を開始。
- 「ヒアリング（耳）フレイル予防」を切り口に、9月13日の認知症イベント「オレンジフェスタ」でも「きこえ」をテーマとして、認知機能や社会的孤立の予防につながる取り組みを実施。

補聴器申請

4件 ※年間50件計画

■ 人にやさしいまちづくり

主な取組内容

健康運動習慣化支援事業

○歩いて通える近場の集会所等で、生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばすための運動を行う「元気づくり会」を実施。

会場数

166ヶ所 ※190会場目標

延べ参加人数

20,232人(8月末時点)



健幸都市推進事業

○旧町単位で令和5年度から開催している【だてな健幸ウォークinだて】を開催。今年は伊達地域で行われ、親子向けの3kmコースと歴史に触れることができる6kmコースの2コースで実施。

参加者数

167名 ※定員200名



教育用コンピュータ整備事業

○ICTを活用した授業及び情報教育を推進するため、県の共同調達により、児童・生徒一人一台タブレット端末の更新を行う。

小中学校整備予定数

計3,943台

■ 豊かさを感じられるまちづくり

主な取組内容

伊達市合併20周年記念事業

- 5月16日、NHKラジオ「ラジオ深夜便のつどい」の公開収録。ゲストの料理家栗原はるみさんによる「明日へのことば講演会」、アンカー2名によるトークショーの実施。
- 6月28日、「伊達市合併20周年記念式典」の開催。伊達市名誉市民表彰、アトラクションとして霊山太鼓演奏・大島花子さんのコンサートの実施。
- 9月26～27日、「MSCCラリーin福島伊達2026(全日本ラリー選手権 第7戦)」の開催。霊山太鼓まつりとの同時開催。市では農産物等フェアを実施し、物産展を出店。

NHKラジオ観覧者

444名 ※定員430名

式典参列者

470名 ※定員475名

ラリー観覧者

15,000名



鳥獣害対策事業

- 農作物被害や生活環境への影響を軽減するため、有害鳥獣の銃猟、罠による捕獲活動を実施。
- クマの目撃情報があった際は、「鳥獣被害対策実施隊員」と「鳥獣対策専門員」が連携して対応。

捕獲数（8月末時点）

イノシシ：230頭、ハクビシン：160匹 等

※年間イノシシ1200頭、ハクビシン200匹目標

■豊かさを感じられるまちづくり

主な取組内容

観光でにぎわう魅力づくり事業

- ふくしまデスティネーションキャンペーンでの観光PRと観光客の受け入れ。
- イオンモール伊達へアンテナショップ「あい〜な伊達」を設置し、観光PRの拠点を目指す。11月27日にオープン。
- 令和8年度仙台市・八戸市・鶴岡市・伊達市の広域連携による周遊促進事業協定を4月2日に締結。
9月以降に各市連携の観光PRを実施。

DC期間の 観光入込客数

93,115人(1,351人純増)
※91,764人(昨年実績)目標



農産物魅力発信事業

- 7月10日、ふくしまFMを1日ジャックして「まるっと1日伊達桃の日」として「伊達市産桃」を県内そして全国にPR。13万のインプレッションを獲得。
- 7月21日、東京ドームで「伊達市桃コラボ」を開催。令和5年度から4回目の開催で、桃などの農産物や市の魅力を発信。
- 8月21日、首都圏で伊達の食を通して、伊達市の魅力を知っていただく交流イベント「伊達市ファンミーティングー桃一会」を開催。

ファンミーティング参加者数

約100名 ※定員120名

- 伊達市産の桃などの農産物を消費者に直接伝えるため、札幌市、仙台市、でトップセールスを実施。



■豊かさを感じられるまちづくり

主な取組内容

データ駆動型スマート農業推進事業

○環境測定装置を用いて、ハウス内環境データを収集し、出荷データを突合、分析を開始。

環境測定装置設置

5件（キュウリ農家）
10月以降…10件（イチゴ農家）
※年間20件計画

商工業振興対策事業

○新しい事業や起業に挑戦したい方を支援する、伊達イノベーションサポートセンター「DISC」を支援。

起業支援相談

7件

事業開発相談

1件

伊達イノベーションアカデミー参加者

62名（計6回）

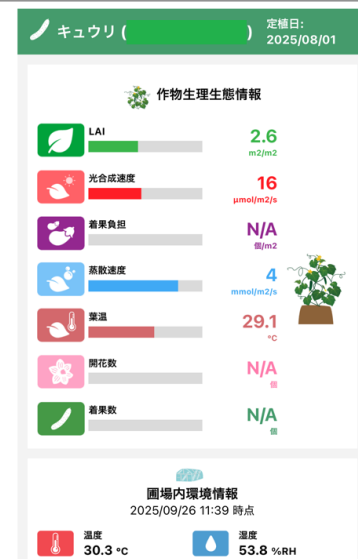


埋蔵文化財保護事業

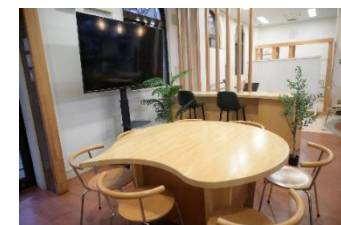
○梁川遺跡群の伊達氏館地区の内容確認調査を実施。
内容確認調査を踏まえ、整備基本計画を策定予定。

調査面積

314m² ※404m²計画



スマホで生態情報を管理



起業カフェ併設